

## 四国のみち⑩「柴小屋・旭ヶ丸分水嶺のみち」

【日 時】 2017年4月8日(土曜日)

【天 候】 曇り時々雨

【メンバー】 CL岸上 務 SL河野 順 板谷 章 杉原 宏重 板東すみえ

西ゆみ子

計6名

### 【アクセス】

国道192号から新堂学寺トンネルを超え、神山町に入り国道438号を佐那河内村に入る。

大川原高原の案内標識に従い、約20分程舗装された広い村道を走ると、巨大な風力発電設備のある大川原高原駐車場に着く。ここに車1台をデポし、再び国道438号に出て神山町役場に車を置いて最初の目的地である雨乞い滝に向けて歩く。

帰りは大川原高原にデポしていた車に乗って、参加者の車を置いた神山町役場に回送した。

### 【コースタイム】

寄井……2.5km (1時間10分)……雨乞い滝……1.1km (40分)……悲願寺……6.3km (1時間45分)……柴小屋休憩所……5.0km (1時間30分)……天ヶ滝休憩所……1.5km (25分)……梅ノ木峠……4.6km (1時間40分)……旭ヶ丸……1.2km (20分)……大川原高原

計 歩行距離 22.2km 所要時間 7時間30分

### 【コース概要】

出発起点は神山町役場から国道438号を剣山寄りに少し歩いた、雨乞い滝へ通じる町道交差点となる。

しばらくは平坦な道路が続くが、雨乞い滝駐車場からは、急な坂道となり、溪流沿いに滝まで連続した坂となる。ペース配分を誤ると結構シンドイ。

要所には階段や柵が設置されており、危険性は少ないが雨天時にはスリッパに注意が必要。

雨乞い滝は県下有数の名瀑で左に雄滝、右に雌滝があって一つの滝壺に落ちている。

滝には東屋があり、すぐ横から悲願寺へ通じる道が続いている。悲願寺は清らかな寺のたたずまいに人気があり、境内は掃き清められチリ一つ落ちてない。

悲願寺から林道を進み、いくつかのヘアピンを通りながら高度を稼ぐと、展望の良い東屋に着く。柴小屋休憩所だ。天気の良い日は素晴らしい景観が展望できる。

四国の道は柴小屋山へ通じる山道となる。登山口はヘアピンカーブを曲がってすぐ左手に階段があり山頂へ通じている。山頂は展望こそないが自然林に覆われた静かなところだ。

ここからは稜線を通ったり林道を歩いたりして幾つかのピークを越えながら大川原高原へと歩を進める。要所に標識があり登山道も良く整備され気持ちの良い山歩きが魅力である。

### 【リーダーの感想】

佐那河内の宮前まで歩を進めると33kmにもなり、1日では困難であるが、大川原までなら、滝あり寺あり、高原、山頂ありの変化に富んだ魅力あるコースである。



① 柴小屋山頂上



② 寄井・神山役場近く



③ 雨乞いの滝



④ 悲願寺



⑤ 柴小屋休憩所

